

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間/週
教育訓練課程	応用課程	工業法規	必須	I・II期	2	2
教科の区分	専攻学科					
教科の科目	企画開発					
担当教員		内線電話番号	電子メールアドレス		教室・実習場	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
ものづくりに必要な法律の知識						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
ものづくりに関する各種の法規を学習する。	①	特許権と実用新案権について知っている。				
	②	商標権・意匠権及び著作権について概要を知っている。				
	③	製造物責任法について知っている。				
	④	損害賠償の概要について知っている。				
	⑤	独占禁止法、不当景品及び不当表示防止法、不当競争防止法などの競争の制限の概要について知っている。				
	⑥					
	⑦	電磁的記録偽造罪、コンピュータ関連業務妨害罪、コンピュータ詐欺罪及び電磁的記録毀棄罪などの刑事責任について知っている。				
	⑧	国際法務として、契約、アンチダンピング、関税法、ライセンス及び国家安全保障の概要について知っている。				

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	あらかじめ、新聞記事などにより特にものづくりにかかわるような法律に抵触している事例を、見ておいてください。
授業科目についての助言	ものづくりに関する法律への理解を深め、ものづくりの過程を押さえながらどのような権利・義務が関連するか理解することを勧めます。また、特に法律のポイントが分からない場合は、過去の判例を調べてみることも理解の手助けになります。専門課程の総合制作実習等で制作した課題について検討してみると良いでしょう。
教科書および参考書(例)	教科書:この一冊で合格! 知的財産管理技能検定3級テキスト&問題集2018年版(ナツメ社)
授業科目の発展性	<div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">工業法規</div> — <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">開発課題実習</div>

評価の割合(例)								
指標・評価割合	評価方法	試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
評価割合	授業内容の理解度	60		40				100
	技能・技術の習得度	50						
	コミュニケーション能力							
	プレゼンテーション能力							
	論理的な思考力、推論能力	10		20				
	取り組む姿勢・意欲			20				
	主体性・協調性							

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習
1週	1. 知的財産権 (1) 知的財産権の理解	講義	知的財産権とは発明者の保護と「もの」とは異なり「財産的価値を有する情報」と理解します。知的財産権の具体例を理解してください。
2週	(2) 特許権・実用新案権の理解	講義	特許権と実用新案権を理解し、保護対象の違いや審査の違いなどを理解してください。
3週		講義	出願に関する手続きを理解してください。国際的な取り決めに理解し、侵害者の対応について理解してください。
4週	(3) 商標権・意匠権の理解	講義	商標権と意匠権の概要を確認し、商標権と意匠権さらに特許権の違いを理解してください。
5週		講義	登録手続きを理解してください。権利と侵害について理解してください。
6週	(4) 著作権の理解	講義	著作者の権利について理解し、著作物(保護の対象)とは何か理解してください。
7週	(5) 知的財産権のまとめ	講義	外国の著作物等の保護、著作権の制限、他人の著作物を利用する方法を理解してください。
8週	2. 製品の欠陥 (1) 製造物責任法の理解	講義	製造物責任の意義について理解し、製造物責任法を説明できるようにしておいてください。
9週		講義	対象とされる物、責任主体、欠陥および消費者の保護と責任について理解してください。
10週	(2) 損害賠償の理解	講義	製造物責任法とその損害賠償について理解してください。
11週		講義	欠陥(無過失責任)とその判断について理解してください。
12週	(3) 製品の欠陥のまとめ 上記「1. 知的財産権」から「2. 製品の欠陥」までの小テスト	講義、試験	ものづくりの権利とその責任について理解してください。
13週	3. 競争の制限 (1) 独占禁止法の理解 (2) 不当景品及び不当表示防止法の理解	講義	事業活動の不当な拘束の排除や、過大な景品類の提供や虚偽・誇大な表示による不当な顧客誘引行為を規制し、公正な競争の促進を理解してください。
14週	(3) 不正競争防止法の理解 (4) 競争の制限のまとめ	講義	不正競争防止法の意義を理解し、独占禁止法や不当景品及び不当表示防止法との違いを理解してください。
15週	4. 刑事責任 (1) 電磁的記録偽造罪の理解 (2) コンピュータ関連業務妨害罪の理解	講義	講義で説明した各種刑事責任について、そのポイントを理解してください。
16週	(3) コンピュータ詐欺罪の理解 (4) 電磁的記録毀棄罪の理解 (5) 刑事責任のまとめ	講義	講義で説明した各種刑事責任について、そのポイントを理解してください。
17週	5. 国際法務 (1) 契約の理解 (2) アンチダンピング法の理解 (3) 関税法の理解	講義	契約の意義を理解し、関税に関する知識を習得してください。
18週	(4) ライセンシングの理解 (5) 国家安全保障法の理解 6. 定期試験	講義、試験	ライセンスについての概念と実例を理解してください。